

事務事業評価表 平成23年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 交通環境の充実  
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **ロードヒーティング管理経費**

[0262]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>路面融雪施設</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	ロードヒーティング延長	m	979.1	979.1	979.1	979.1
対象指標2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	5,673.1	5,673.1	5,673.1	5,673.1
活動指標1	巡回・点検回数	回	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	管理上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	17,404	16,999	18,500	17,304
正職員人件費 (B)		千円	2,507	2,489	1,612	1,629
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>19,911</b>	<b>19,488</b>	<b>20,112</b>	<b>18,933</b>

費用内訳	
22年度	需用費 18,290千円、委託料 210千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	急勾配箇所や接触事故の多い道路について設置している。近年において電気料の節約のため緩勾配箇所等冬季間電源を入れない自治体ができている。
------------	--	---------------------	---

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

道路管理者は冬季間スリップ等事故が起きないように 利用者が快適に通行できるよう 努めなければならない。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

当該箇所での冬季間における交通事故が皆無であり 貢献度は大きいと考えられる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

天候に左右されるが、一定の成果はあがっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

実施後の道路の安全は確保されており これ以上の向上の余地はない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

これまでも経費削減のため、天候の良い日は電源を切るなどして努めており これ以上のコスト削減は難しい。